

商店街活性化事業計画の概要

地域

東京都台東区

認定日

平成23年3月31日

事業名： お祭り商店街“西参道”の再生と防犯・省エネのまちづくり事業

事業者名： 浅草西参道商店街振興組合（東京都台東区）

事業実施期間： 平成23年4月～平成26年3月

■商店街活性化事業の概要

・浅草の地域資源である「お祭り」を最大限に活かし、歴史や風情が感じられる江戸の街並みを再現したファサード整備やカラー舗装を行うことで景観統一を図る。また、空き店舗を活用し、商店街の情報交流拠点として「お祭りプラザ」を開設し、今後増加が見込まれる観光客に対し、お祭り・観光・商店街情報を発信する。

■商店街活性化事業の内容

◆地域住民ニーズ

・地域住民や観光客を対象にニーズ調査を行ったところ、「お祭り芸能の振興」「観光に対する取り組み」「街並みの修景事業」等の声が多かった。また地元の町会等の要望として、「老朽化したアーケードのリニューアル」や「空き店舗活用」といったニーズが寄せられた。

◆実施計画の主な内容

・空き店舗活用事業

空き店舗を活用して、「お祭りプラザ」を整備し、地域住民・来街者の情報交流拠点とし、商店街情報や観光情報、お祭り情報を発信することで商店街の集客力向上を図る。

・観光サービス向上集客事業

商店街の観光マップを制作するとともに、商店街の各店舗が観光客に対して、おもてなしサービスを実施する。また、浅草や全国のお祭りの写真を公募し、イベント事業としてコンテストを実施することで、全国的に「お祭り商店街」のイメージを定着させる。

・江戸町ファサード修景事業

地域資源である「お祭り」を最大限に活かし、歴史や風情が感じられる江戸町風の街並みを再現したファサード整備を行うことで景観統一を図る。また、LED型の街路灯の整備やバリアフリー対応の木道舗装整備等を行い、快適な歩行者空間を提供する。

■商店街活性化事業計画の目標

空き店舗数の減少 3店舗（平成23年2月）→0店舗（平成26年3月）

来街者数の増加 約145万人（平成22年度）→300万人（平成25年度）

【商店街の様子】



【商店街の様子】

